

教科目標及び厳格かつ適正な成績管理に関して

令和元年度6月1日現在

学科名	養成目的	教育目標
美容師科	お客様のニーズにしっかり応えられ、提供できるヘアスタイリスト、ヘアメイク、アイデアデザイナーになり、美容業界のインフルエンサーとして世の中に発信できる人材になる。	国家試験に合格するのももちろん、トップアシスタントとしてトップサロンゼミ、学生サロン、東京研修やコースの専門授業を通じて現場力を高め、最新の美容技術やコミュニケーションに長けている人材になる。
トップスタイリスト科	現場で、※サロンマネジメントが出来る美容師になる。 ※サロンマネジメントとは、サロン運営にあたり「人」「物」「金」「時間」を意識し、PDCAサイクルを回せるようになる人材になること。	デュアル実習を通じて、接客力・技術力・運営力を身に付け、スタイリストデビューを目指す。美容師国家資格取得に向けて、技術・知識を身に付け合格する。
ヘアメイク科	ゲストやクライアントの要望を的確に把握し、対応できる技術と流行に敏感に察知でき、美容・ブライダル業界で活躍できる人材になる。	多様化したヘアメイク現場やブライダル現場に適した技術力を身に付け、セルフプロデュースができるような想像力や行動力を身につける。
トータルビューティ科	専門性の高い美容技術の習得と、お客様に最高の満足を感じて頂けるホスピタリティーを理解した人材の育成を目指す。また、内面からの健康的な美しさをアドバイスできるよう、専門分野だけでなく幅広い美容知識を学び、業界にふさわしい身だしなみを備えた人材を養成し、美容部員、ネイリスト、エステティシャン、ファッションアドバイザーになる。	(エステ) サロンワークや企業コラボを通してコミュニケーション力を身につけるとともに、皮膚や化粧品、機器の使用方法を習得し、エステティック業界で必要とされる資格を取得する。 (メイク) 美容部員として必要とされる技術(メイクアップ・スキンケア)・知識(肌・化粧品・ブランド)・コミュニケーション力を身につける。 (ネイル) サロンワークでの実践を通して、お客様の要望に確実にこたえられるスピードと技術力を身につけるとともに、お客様に喜んでいただける接客力を身につける。 (ファッション) 常にトレンドをキャッチアップし、「セルフプロデュース力」とお客様のニーズに合わせた提案が発信できる。コミュニケーションスキルとおもてなしの心を身につける。
国際ビューティビジネス科	海外で活躍できる人材となり、海外の事業拠点でも活躍できる人材となる。また企業内でのIT分野、一般事務において中心的な人材となる。	美容における企画、マネジメント分野で就職ができる日本語力と知識・技術を身につけた人材となる。またIT分野、一般事務業務の就職ができるだけの日本語力、ビジネスマナーを身につけた人材となる。

カリキュラム 授業方法及び内容 年間の授業計画	<p>授業計画は、業界ニーズを把握した上で、卒業後3年後の到達目標(養成目的)と卒業時における到達目標(教育目標)を設定し、カリキュラム編成を行っている。年2回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にし、毎年見直しを図っている。学生には授業計画を学生便覧にまとめて公表、2019年度はホームページ上でも公表する</p> <p>また、教科課程はもちろん、シラバスには学科・コース、必修選択の別、授業形態、年次、総時間(単位)、担当教員、開講区分、曜日・時間、授業の学習内容と心構え、到達目標、使用教科書・教材・参考書、授業外における学習、授業概要・回数、評価について、特記事項を記載している。</p>
成績評価の基準・方法	<p>定期試験及び臨時試験(論文・レポートを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で評価する。評価はA・B・C・D・E・Fで行い、D以上を合格とする。単位・履修の認定については卒業進級判定会議を開催し、審査の上、判定をする。定期試験の方法は、筆記試験、口答試験、実技試験、論文あるいはレポートで行う。</p> <p>評価は、定期試験及び臨時試験(論文・レポートを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で評価します。評価は「A～F」で行ない、D以上を合格とする。</p> <p>評価分布の判断は「GPA」制度を活用し、実施する。</p> <p>点数100～90点=A評価(GP=4.0) 点数 89～80点=B評価(GP=3.0) 点数 79～70点=C評価(GP=2.0) 点数 69～60点=D評価(GP=1.0) 点数 59点以下=F評価(GP=0.0)</p> <p>※出席が8割(7割)に満たない場合はE評価(特別補講を実施)</p> <p>$GPA = (\text{当該科目の単位数} \times \text{各授業で得たGPの合計}) / (\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計})$</p>
卒業・進級の認定基準	<p>ディプロマポリシーにある建学の理念と4つの信頼や、各学科養成目的、教育目標に基づき、教育課程の定めるところにより、学年ごとに修了すべき教科目について、履修認定の要件として、美容師科においては該当教科科目の8割以上、トップスタイリスト科、トータルビューティ科、ヘアメイク科、国際ビューティビジネス科においては7割以上を出席していること、試験に合格している者に対して該当教科目の修了を認定する。</p> <p>学校長は前項の認定を行うために、学校長及び学校長が指名した者より構成される卒業判定会議を開催し、審査の上判定する。この場合、所定の教科目及び所定の単位数または授業時間数を履修し、その成果が修了認定すべきものと認められる場合、卒業認定をする。</p> <p>学年ごとに必修単位数を取得し、卒業時まで全科目を履修し、学校長が適当と認めた者は卒業となる。卒業年次生は卒業式の前日までに学費が完納されていない場合は、原則として卒業を認めない。</p>